

# 木葉小便り

令和5年3月7日(火)発行  
文責 校長 吉野 新吾



春の気配

## 環境が人をつくります

植物が光を浴びて育つように、人は言葉を浴びて育ちます。豊かな感性を持った人に育っていきけるかは、周りの環境というものが大きく関係します。“その時”“その子に”必要な環境を与えることができる学校でありたいものです。

児童の靴箱の上に飾られている平成25年度卒業記念品を修理しました。教育実習に来た卒業生が「まだ大切にしてくれているんですね。」と喜んでくれました。

すばらしい作品が、来年度の作品作りの参考になるように、読書感想画の特選作品を額に入れて飾ってみました。卒業を控えた6年生の制作した女子が「きれいに飾ってくれてありがとうございます。」と笑顔で伝えてくれました。



修理した卒業記念品



特選作品(読書感想画)

## 学校評議員さんお世話になりました

第3回の学校評議員会を2月28日に行いました。角田さん、緒方さん、碓さんの3名の評議員さんに学校の様子を観てもらい、落ち着いて学ぶ子供たち、工夫した授業を行う先生方を褒めていただきました。木葉小は、評議員さんとの情報交換も日常的にできる体制がとれていることに感謝しています。今後も、地域の声を大切にできる学校でありたいと思っています。



評議員さんの授業参観

## 子供らしく

3月2日(木)朝の校庭です。春めいてきた運動場に、子供たちの元気な姿があります。3日(金)は、久しぶりに田原坂公園へ送別遠足に行きました。自然の中で解放された子供らしい姿をたくさん



R5.3.2 朝の校庭より

みることができました。

オンとオフの切り替えを行うことも人生の大事な部分だと再認識しました。